

南東北グループ 医療法人財団 健貢会

総合東京病院通信

2021.5

Vol. 103

●編集・発行／総合東京病院

医療連携支援センター 地域連携室 TEL:03-3387-5444

特集

女性としてどう生きる？
循環器医師の立場から



副院長・
循環器センター長・
地域連携室長
塚原 玲子

心血管インターベンション医師として仕事を始めてから、早や30年が経過しようとしています。一日24時間365日体制で、この分野で現在も仕事が継続できることに感謝しています。日本の医学部学生のうち女性の占める割合は今まで20-30%と低かったのですが、現在はおよそ半数近くを占めるようになってきています。当院循環器内科も40%が女性医師で、出産後も皆継続活躍しています。また、以前から女性の占める割合が多い看護師も24時間交代勤務制の中、並々ならぬ仕事量をこなしています。臨床は、＜病に苦しむ患者さんの治療＞を意味しますが、実際現場では患者さんに対するいたりや気遣い、ご家族への配慮等が大

きく関わっています。日本古来の風習からすると医療従事者として十分な使命を全うするのに女性はしばしば困難でした。が、その一方＜日本人らしい素敵な女性らしさ＞を披露しつつ女性であればこそ持てる忍耐力や抱擁力で、患者さんやご家族を安心していただける環境に導けるのも事実だと思います。

■仕事と出産、育児

若い女性スタッフにとって結婚、出産、育児は仕事の上で大きなハードルになります。最近では、配偶者の理解も深まり男性も育児に協力する‘イクメン’は常用語となりました。私が若い頃はそのような社会的認識はなく、学会発表のため出産を早めて1週間後に京都まで行って研究内容を発表してきたことを思い出します。出産後は一旦5時に保育園まで子供を迎えに行きその足で別宅に預けてから再度病院に向かったり、家族が寝静まってから夜中に論文作成をしたりしていました。その頃は医

寄附金のお願い

～新型コロナウイルスから患者さんを守るために～

寄附金は、病院の施設や環境の整備、新しい知識や技術などの研究開発、医療スタッフ育成のための経費に活用させていただきます。皆さまからのご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

お問合せ

総合東京病院 寄附受付係

TEL: 0570-00-3387 メールアドレス tokyo-hp.kifu@mt.strins.or.jp

詳細はこちら



特集 女性としてどう生きる？～循環器医師の立場から～

師としての価値観と喜びが如何なる苦勞にも勝っていたのだと思います。しかし今考えると相当無理をしていたのかもしれない。また、自分が苦勞していたからこそ許されると思っていた自画自賛の傍ら泣いていた家族、特に子供に悲しみを感じさせていた可能性は否定できません。現在でも、同じような経験をしながら頑張っている女性医師やスタッフはたくさんいます。医師にとって結婚、出産、育児という<人>としての大事な仕事と各専門医取得や臨床トレーニングの時期は重なっているのです。配偶者の協力はもちろんですが、制度的な支援体制や協力しあえるチーム医療の必要性を強く感じます。

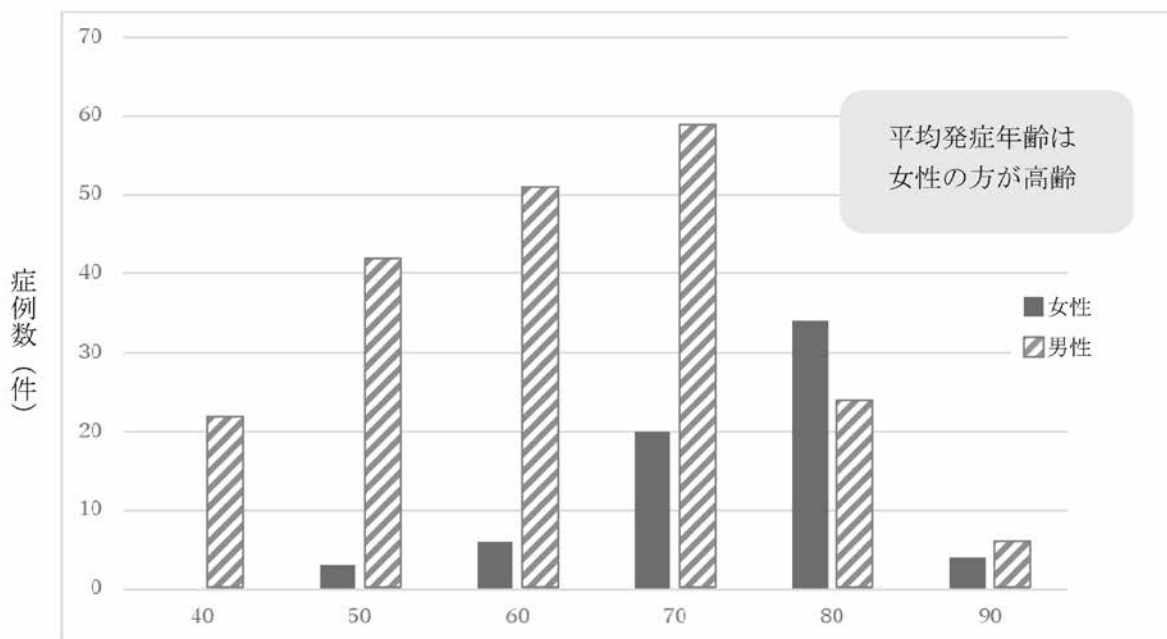
■女性心筋梗塞の特徴

下の表は2015年3月から2021年4月までに来院された心筋梗塞例の男女別差異を示します。男性の平均発症年齢は66±13才、女性は79±9才と女性は高齢です。この原因としては、女性ホル

モンであるエストロゲンの降圧作用など冠危険因子を軽減させる間接的な作用と、直接血管平滑筋に対する血管拡張作用や血管障害に対する新生内膜肥厚抑制作用などが示されています。しかしながら一旦発症すると、死亡率は女性の方が高いことも知られています。その理由として、心筋梗塞の初期症状として女性の方が非典型的なもの（背部痛、腹痛や胃のもたれ感）が多く、発症から受診、治療までに時間がかかってしまう可能性が高いこともあげられます。また、女性は喫煙や糖尿病等のリスク因果関係も男性より大きいことが示されています。

■まとめ

女性は瞬時の体力や行動力など男性にはかないませんが、現状に尽力し皆と結束することで夢や希望につながるエネルギーを持っていると思います。皆の健康と幸せを願い明日に向かっていきましょう。



表：当院における心筋梗塞の男女別症例数

年齢 (歳代)

病院からのお知らせ

◎人気コーナーのご案内ー医療コラム

◆ セカンドオピニオンと放射線治療コラム
ーがん治療の最新知識



◆ 不整脈への放射線治療、その効果は？



当院ホームページでは、医療に関する身近な題材をテーマとし皆さまに親しんでいただけるコラムを掲載しています。今月は、放射線治療センター長、国枝悦夫医師によるコラムをご紹介します。



◎「ドクター塚原の心臓病ティーサロン」のお知らせ

これまで開催してきたティーサロンの映像をYouTubeチャンネルにて配信しています。ぜひご覧ください。

心臓・血管の病気を知る③

～閉塞性動脈硬化症～

講師：循環器内科 滝村 英幸医師



フットケア（足病治療）を担当する滝村医師が「足の痛み」をテーマにわかりやすくお話しします。

心臓血管外科医の役割

講師：心臓血管外科部長 前場 覚医師



年間約150人の患者さんに心臓、胸部大血管手術を執刀している前場医師が心臓血管外科医の役割についてお話しします。

総合東京病院 動画ちゃんねる

Q検索

次回 6月5日(土)開催！

「食べ物と心臓病」

講師：糖尿病センター長
柴 輝男医師

生配信

YouTubeライブ配信とZoom配信のどちらでもご覧いただけます。ご参加をお待ちしております。



◎新入職医師のお知らせ

- 泌尿器科 吉村 敏宏医師 精神科 林田 君枝医師 糖尿病・代謝内科 市川 智香子医師
消化器内科 篠原 進太郎医師 整形外科 外田 真暉医師
リハビリテーション科 池田 久美医師

■総合東京病院 〒165-8906 東京都中野区江古田 3-15-2

予約・相談ダイヤル 0570-00-3387 (月～土曜日 9:00～17:00)

外来診療 月～土曜日 9:00～17:00 (日曜・祝日・年末年始をのぞく)

外来受付時間 8:00～11:30 / 12:30～15:00



■ 当院の理念

すべては患者さんのために

■ 個人情報保護について

当院は、患者さんの個人情報について、正確かつ最新の状態に保ち、患者さんの個人情報の漏洩、紛失、破壊、改ざんまたは患者さんの個人情報への不正なアクセスを防止することに努めます。

■ 患者さんの権利

1. 人格が尊重され、最善の医療を公正に受ける権利があります。
2. 病状や医療行為について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります。
3. ご自身の選択に基づく医療を受ける権利があります。
4. 他の医師の意見（セカンドオピニオン）を受ける権利があります。
5. ご自身の診療記録の開示を受ける権利があります。
6. 診療上得られた個人情報やプライバシーは保護される権利があります。

■ 患者さんの責務

1. 適切な医療を受けるため、自らの健康状態等、必要とされる情報を可能な限り正確に医療提供者に伝えていただきます。
 2. 医師から十分な情報と説明を受けた上で、診断・治療方針について、自らの意思を明らかにしていただきます。
 3. 治療に必要な指示を守っていただきます。
 4. 病院の快適な療養環境の維持に協力していただきます。
- * 暴言・暴力や迷惑行為、および器物破損行為を禁止します。
* 診療を阻害するような迷惑行為などがあった場合、患者さんおよびご家族の意思に関わらず、退去していただくことがあります。